



ほほえみだより

No.232

Topics
1

ポプリ用ばらの花びらの摘み取り 5/26

女性会では、子育て支援事業として令和2年度から福山市の花「ばら」を使ってポプリを手作りし、市内幼稚園に寄贈してきました。

今年も園児たちに香りのプレゼントをしようと、福山市の協力により、「ばらのまち福山国際音楽祭」で使ったばらの花びらを摘み取り、各自持ち帰り乾燥させました。すてきなポプリに仕上がるものと期待しています。

ポプリのラッピングなどは、子どもたちと一緒に楽しんで行いたいと思います。

地域活性委員会 副委員長 寶諸 加代子



▲ばらの摘み取り作業

Topics
2

広島県商工会議所女性会連合会 6/3 令和7年度総会・講演会・視察会

令和7年度広島県商工会議所女性会連合会の総会が府中商工会議所で開催され、当女性会から12名、総勢88名が出席しました。



▲監査報告をする
高田副会長

令和6年度事業報告ならびに収支決算について審議し、すべて承認されました。また、監査報告は、当女性会 高田副会長が行いました。

視察会では、カイハラ(株)三和工場を訪問し、代表取締役会長 貝原潤司氏より「備後絣からデニムへ」をテーマに講演を聞きました。

創業時は日清・日露戦争で困窮した時代でしたが、業績は順調に伸び、創業から10年で年間5,000反の絣を製造するまでに成長されました。1941年に太平洋戦争で糸の配給がストップしたため、経営危機を迎えました



▲貝原会長による講演

が、洋服用広幅絣の製造に成功し、苦境を乗り越えました。1967年に輸出が激減し、収益が1/3にまで落ち込む危機が再度ありましたが、衣料品メーカーからデニム生地を作って欲しいとの依頼があり、絣製造からデニム生地製造へと事業を大きく転換されたことなどを話されました。

講話後、広大な敷地の三和工場を見学しました。原綿から世界中で愛されるカイハラデニムが出来上がる工程では、随所で機械化されていましたが、最終的には職人の目による検査を経て商品となります。どの工程でも検査・品質管理を徹底していることが印象的でした。

県内の女性会の方とも交流ができ、とても有意義な一日となりました。

会長 小林 眞理子



▲三和工場を見学

Topics
3

毎土夜店に今年も出店「千本つりやってま〜す」 6/7～8/9までの毎週土曜日と8月13・14日開催

昨年に続き、当女性会では商店街の夏の風物詩「毎土夜店」に出店しています。場所は、宮通り商店会の酒のマエダの隣です。

今年も「千本つりゲーム（1回500円）」を実施し、景品には人気キャラクターグッズや光るおもちゃなど、盛りだくさんご用意していますので、お楽しみいただけたらと思います。

ご家族・お友だちをお誘いのうえ、ぜひお立ち寄りください。

地域活性委員会 委員長 前田 美都子



▲たくさんの景品を準備しています